



# 普通科



平成 24 年度「学力向上フロンティア校」に **5年連続**指定！  
 自主性・自立心を育てる取組を通して、バランスのとれた人格の形成を目指します。

## 自分の「みらい」を考える。 ～【みらい考】の取組～

自分の「みらい」について考える。とは言っても、具体的に何をどのように考えればいいのか分からないものです。本校では、1年生で職業適性検査を実施し、客観的な資料をもとに、自分自身の興味や適性について考える機会を保障しています。さらに、一人一人がテーマを設定し、その問題解決方法、表現方法を育てる取組として、普通科1、2年生を対象に「みらい考」を実施しています。



このような客観的に物事を見つめ、自ら積極的に判断し、分かりやすく表現する能力は、どのような進路においても今後求められる力です。この経験や力を活かし、2年生では、自分の就きたい職業や、目指したい大学についてより深く調べ、進路目的へと適応していきます。

現在1年生は、「グリム童話の深層」「インド式計算」「睡眠生物学」といった幅広い分野の80程度のテーマの中から、興味あるものを選び、それについての先行研究を、インターネットや図書を利用して進めています。中には、すでに進路実現に向けて、独自のテーマを設定し、意

欲的に調査活動を進めている生徒も多く見られます。



今後は、夏休みを利用して、博物館や資料館等の見学、地域に根差したインタビューやアンケート等の調査活動、ものづくり等の制作活動を、実際に進めていきます。自分の目や耳、肌で感じたことを大切に、人に分かりやすくしっかりとまとめ、オリジナリティのある交流活動へ展開していく予定です。





# 合格体験記を読んで

「みらい考」2年生の活動～



6月のホームルームの時間に、今年の3月に卒業した先輩たちの合格体験記を読んで、感想文を書きました。以下は感想文の一部です。

## 京都府立医科大学医学部医学科に合格した先輩の合格体験記を読んで

合格した生徒は3年間陸上競技部に在籍して、京都府立医科大学医学部医学科に進学しました。この先輩の合格体験記を読んだ福知山市立大江中学校出身の生徒の感想文です。

合格体験記を読んで、目標って大切だなと感じました。そして目標に向かって全力を出し切ることがもっと大切だと思いました。先輩は部活動に励みながら、「毎日これだけはやる！」という目標。「医師になる」、「恩返しをする」という夢。その他いろいろな想いを胸に取り組みまれていました。私も具体的に実現可能な目標を立てたいと思いました。それから、睡眠時間を十分に取ることの必要性にもふられていました。授業中ウトウトしては、授業に集中できずに大切な事を聞き逃したりするからです。自分に負けず、投げ出さず頑張ろうと想いました。



## 京都大学法学部に合格した先輩の合格体験記を読んで

合格した男子生徒は文理科学科に在籍して、学校行事にも積極的に参加して、京都大学法学部に進学しました。この先輩の合格体験記を読んだ福知山市立成和中学校出身の生徒の感想文です。

最初に感銘を受けたのは、出された課題を受け身ではなく能動的な態度でするところです。「やらされている」のではなく、「自分に

とって必要な事」だと考えて取り組めばいいと思いました。次に、自分に合った勉強方法を見つけるといことです。合格体験記でたくさんの先輩方が良い勉強方法を伝えてくれています。これらの実践例をもとにして自分なりの、自分に合った、自分の身につく勉強方法を見つけたいです。最後に、目標は高くかかげて、高いモチベーションを維持したいと思いました。

## 京都教育大学教育学部体育領域専攻に合格した先輩の合格体験記を読んで

合格した男子生徒は3年間硬式野球部で活動しました。将来は高校野球の指導者になるという目標を持って、京都教育大学に進学しました。この先輩の合格体験記を読んだ福知山市立南陵中学校出身の生徒の感想文です。

体育教師になりたいという先輩の夢と私の夢は同じです。先輩は文武両道ですごいなあと感じていました。体験記を読んで、一番いいなと思ったことは、「部活動をやっているから」ということを言い訳にするのが嫌ということです。私自身、「部活動をやっているから」という理由で、十分な準備をせずに小テストを受けたり、予習を適当にして授業に臨んだことがありました。部活動を最後まで全力でやり抜くことによって、きっちりと受験勉強へと切り替えたところを見習いたいです。勉強も部活動も中途半端な自分にはなりたくないと思いました。

